

20号

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>

目次

巻頭文----- 1
同窓会副会長 田中省三

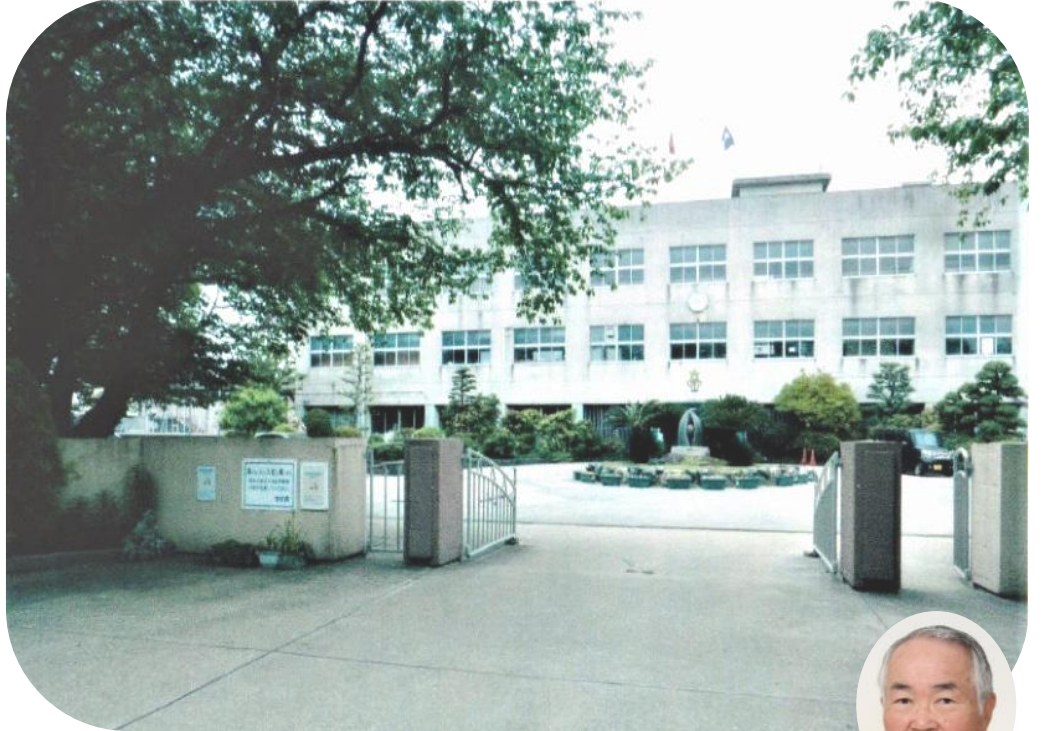
校長の思い出----- 2
文化行事の思い出
18代校長 三好博輝
人工芝化の実現2
事務局長 万前秀男

がんばれ熱校生----- 3
東海道新幹線開業 50年記
11回生 田中和枝
熱田高校生諸君へエール
12回生 森 勇一
常識は時代に合せて変化する
19回生 小坂芳則
あの3年間
24回生 古川直樹

熱田高校の今----- 5
高校総体を終えて
3年 伊藤光輝
修学旅行・熱高祭(体育・文化)
生徒会活動の近況
生徒会長1年 岡本怜子

活動紹介----- 7
女子バレーボール部
2年 大石彩乃
女子ハンドボール部
2年 森 天音
女子ソフトテニス部
2年 櫻井奈津美
サッカー部・マネージャー
1年 澤崎瑠花
1年 福田しほ
ボランティア部
2年 深谷玲次
写真部
2年 大塚美彩稀

事務局だより----- 9
会員名簿に関して・役員一覧
あとがき・訃報



スーパータイ風に直面して

副会長 田中省三(4回生)

令和元年10月12日(土)、東日本をスーパータイ風19号が直撃しました。気象庁は早くから充分に備えるように呼びかけており、レジャー施設やコンビニなども休業し、鉄道各社は計画運休を決め、今までの経験を生かして備えていました。しかし百年に一度といわれる予想以上の大雨になり、多くの川が決壊しました。年間降水量の30から40%にあたる雨量を数日で記録し、人的被害は90名強の死者を出し、堤防の決壊・家屋の損壊、汚泥の流入など、経済的な被害は大きく、元にもどるには2年以上かかると言われております。

これは60年前、東海地方を中心に死者、行方不明者合わせて5千人という台風史上未曾有の被害をもたらした伊勢湾台風を想い出させます。紀伊半島に上陸した台風は、伊勢湾

岸沿い一帯を直撃。濁流にのみ込まれて、多くの命が奪われ、大切な家屋が続々失われました。半世紀以上経た、この惨事、高度成長期から都市開発は進み、都市は姿を変え、現在は、伊勢湾台風の痕跡はほとんど見当たりません。

地球温暖化にともなう気温の上昇と水蒸気量の増加が影響しており今後スーパータイ風は珍しくなくなるかもしれません。堤防のかさ上げやダム建設といったハードに頼る洪水対策は限界にきています。災害は忘れたころにやってくるという言葉は胸に、毎年のようにやってくる大型台風に備えるためにはハザードマップを手元に、きめ細かな情報収集が最も必要だと思えます。

終わりに、熱田高校は緊急避難場所・津波避難ビルに指定されております。

令和元年 10月吉日

文化行事の思い出

18代校長 三好 博輝



本年度の全日制文化行事は、7月に市民会館で、和楽器と洋楽器のアンサンブルという

一風変わった伝統芸能を鑑賞しました。迫力ある太鼓の演奏や、生徒参加のコーナーもあり大変盛り上がりました。1月には1・2年生のみの参加となりますが、合唱祭も実施する予定です。定時制は、9月に映画鑑賞会があり、上映8作品の中から自分の好きな映画を鑑賞しました。なかなか斬新な企画です。11月には文化鑑賞会として劇団四季の「パリのアメリカ人」を鑑賞しました。

私の高校時代にも映画鑑賞会があり、名古屋駅前の映画館に「犬神家の一族」を見に行きました。角川映画が『読んでから見るか、見てから読むか』というキャッチコピーで一世を風靡した最初の作品です。湖から足が逆さまに突き出ている写真のポスターはかなり話題になり、金田一耕助に石坂浩二が扮し大ヒットした映画です。そんな映画ですので、大変楽しみにして開演を迎えましたが、映画の冒頭で高峰三枝子が登場

した瞬間、心優しい私の友人が「こいつが犯人だよ」と教えてくれました。早々に犯人が分かっちゃしまい、謎解きの興味を一瞬にして奪われてしまったことを覚えています。

合唱祭にも思い出があります。当時は、合唱コンクールという名称だったかもしれない。全学年の参加だったと思いますが、3年生の男子クラスがピンクレディーとキャンディーズを唄っていたのが記憶に残っています。とりわけ鈴木元一校長先生が、生徒の後ろの方で、手を頭の後ろから突き出して「UFO」を唄っていたのが衝撃的でした。今の私に「乃木坂46」を生徒の前で踊りながら唄う勇氣はともありません。

冒頭で紹介したように、本校の文化行事は、形を変えながら、現在も脈々と受け継がれており、生徒達の豊かな人間性を育むのに大いに貢献しています。多忙化解消の折、行事の精選が叫ばれていますが、本校にはぜひ残しておきたい行事です。

最後になりましたが、佐々木元彦会長をはじめ、同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に関しまして格別なるご支援をいただいていることに心から感謝申し上げます。同時に、引き続きこれまで同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

人工芝化の実現 2

愛知県立熱田高等学校は、昭和28年4月1日に第1歩を踏み出してから令和4年4月1日で70年の節目を迎えることとなります。県下の高等学校公私立を問わず、周年記念には、それぞれに特徴を生かして数々の周年記念事業が企画されます。

ここ数年同窓会役員会では、70周年記念事業を考案し、企画してきました。その企画が運動場の人工芝化の実現です。

「サッカー部はいい試合はするが僅かの差でまた負けか」試合を観戦した人から「相手は人工芝だから、その差がでたんだなあ」という声もあがりました。同窓会役員会の中にはサッカー部OBが少なくありません。人工芝だったらと思う役員もいるかもしれません。

しかし、企画の人工芝化は、決してサッカー部のためだけのものではありません。人工芝になれば、すべての部活が利用し、強くなつてほしいからです。ただ運動場の場所の割り当てや使用日等については実現できれば学校が充分に考慮すると思えます。

でも、見方を変えてみて下さい。



検討結果の詳細は、次号の「会報21号」・「同窓会ホームページ」を利用して公表してまいります。回生幹事の皆様方、ご理解とご尽力をお願い申し上げます。

同窓会役員が夢を見ているのは、緑のジュウタンが敷かれた学校です。緑に映えた学校は、今までの熱田高校から想像できませんか。他の県立高校に先がけて、緑の中で勉強し、運動し、部活をする姿を同窓生の皆さんは見たくありませんか。環境は一変し、さまざまな面で生活の活動に変化 change が起こると思います。現在、2万6千余名の卒業生が、単立中、第一線で活躍しております。記念事業の大きな目標、学校環境の改善・人工芝化の実現に協力していただきませんか。

今年度の検討会は次のように行ないました。

- 5月24日 第1回同窓会役員会
- 8月4日 第1回運営委員会
- 9月9日 第2回運営委員会
- 10月4日 第1回創立70周年記念事業実行委員会
- 11月22日 第2回同窓会役員会

がんばれ熱高生

今回は4人のOBに原稿を依頼しました。11回生の田中和枝さんは画家で個展を開いています。機会があれば一度は参加したいものです。12回生の森勇一氏は東海シニア自然大学講師、著書も多く一度は手に取って見て欲しいと思います。19回生の小坂芳則氏は北部市場の中央卸売市場セントライト青果で代表取締役を、24回生の古川直樹氏は南区役所区長でこれまた地元で活躍してみえます。4名の方々に熱高生のために、その心の内を語っていただきました。

東海道新幹線開業50年記

11回生 田中 和枝



今から2年前の事になる。新幹線の中でちょうど目にとまる高さに「開業50年」の広告。それを見た

途端、フラッシュバックが始まった。56年前、私は熱田高校1年生。校舎の窓から見える試運転の新幹線。3年生の時は東京オリンピックが開催された。

生まれてからずっと自分の家のまわりは田んぼや畑。今思えば、熱田高校入学は自分の領域から一歩踏み出した意味のあるものだった。受験勉強一辺倒の高校生活では何

も見出せずにいた。ただ、本を読んだり、楽器を弾いたり、絵を描いたり、香気に自分の好きな事をしてい

るだけで何の心配もなかった。時々、ああ、あの頃に戻りたい、もっと勉強しておけば良かったと思う。今はもう父母は他界して周りの景色はすっかり変わった。その中で変わらないものといえば高校・大学の仲間。竹馬の友の絆は当時よりずっと強く、付き合いが続いている。今では自分のライフワークとなった絵画制作だが、個展をする時はいつも遠くからでも駆けつけてくれる。会えば瞬時に当時の自分に戻り、心がうち解けて安らかな顔になれる。もっと嬉しいことがあった。個展や展覧会に、高3の担任渡辺寛先生

が、政治経済の吉村(現・大竹)由紀子先生も来て下さった。当時では、まともに話ができなかったが、今はまるで友達気分。こんな事があるなんて！



2019年9月 主体展 東京都美術館で

本業の仕事もリタイアした今、これからがご褒美の人生。したい事をしようと思っている。

あと5年、10年、15年・・・
Who knows when !

画家・絵画教室講師(豊田市在住)

田中和枝先生には、次号の21号から、挿し絵を投函していただけることとなりました。楽しみにしていて下さい。



熱田高校生諸君へエール

12回生 森 勇一



熱田高校の皆さん、私は何と50年も前熱田高校を卒業した「おじいちゃん」です。おじいちゃん

でも、君たちと同じ熱田高校を卒業したことに誇りを感じています。昨年8月のこと、久しぶりに熱田高校を訪れました。ホームカミングデーがあるからって、同級生に誘われたのです。卒業以来、一度も母校に足を踏み入れたことがなかったのに、校門を通過するとき、ウキウキするような、それでいて妙な緊張感で心が少し躍りました。大変暑い日でしたが、体育館で熱田高校の校歌が流れたとき、思わず涙が出そうになりました。さて、私たちは、食堂のショーウィンドウに並べられた食べ物を見ていったい何を食べようかと迷うことがあります。その時の気分や懐具合などささいな理由によって、あるときはカツ丼を注文し、あるときはカレーライス注文したりします。もちろん、そのときカツ丼を食べようと、カレーライスを食べようと、そのこと自体あまり大差のないことだと思われず。

しかし、これとよく似たことで、私たちは人生の岐路に立って、右を選ぶか左を選ぶかによってその後の人生が大きく変わってしまった、と選ぶか左を選ぶかによつてその後の人生が大きく変わってしまった、と選ぶか左を選ぶかによつてその後の人生が大きく変わってしまった、と選ぶか左を選ぶかによつてその後の人生が大きく変わってしまった、と

高校生諸君は今、最も大きな人生の岐路に立たされているのではないかと、思います。ひよつとして熱高生の中にも、自らが入学した高校に必ずしも満足していない諸君がいるかもしれません。第1希望でなく、もつと行きたい高校があつたなんて考えている熱高生はいませんか。「もつたいないことです」君たちの学校は、人生を切り開くのに十分な学力と可能性を秘めた高校生だけが入ることのできる優れた高校です。人の価値は、たかだか15歳や18歳程度までに得られた成果などによ

つて、決まるものではありません。君たちには、十分な伸び代があります。まだ、これからです。

人生の岐路にあたり、熱田高校を選択し私は本当に良かったと思ひます。

書いている人が何ものか分からないでは説得力も半減します。熱田高校を訪問したのを機に、著書を5冊図書館に寄贈しました。今年の冬に書いた「東海のジオサイトを楽しむ」という本では、熱田高校を卒業したことを本文中に記しました。ぜひ手にとつて読んでみて下さい。

(東海シニア自然大学講師)



森先生の著書のご案内

「東海のジオサイトを楽しむ」

(風媒社)

「アンモナイトの約束」(風媒社)

「ムシの考古学」(雄山閣)

「続ムシの考古学」(雄山閣)

「ムシの考古学」(増補改訂版)

常識は時代に合わせて変化する

19回生 小坂 芳則



人生の中で、一番輝いていた時代はいつか。それは楽しかった高校時代、それも熱田高校で過ごした3年間

た3年間は確かに楽しかった。いま、時代は令和になり、高校時代を過ごした昭和は、当時の自分たちからいえば、もう明治かもしれない。

桑田佳祐がどこかのインタビュで、一番気に入っているアルバムはどれかと聞かれたときに「最新のアルバム」と答えていた。60歳を過ぎても常に現役第一線で活躍し、ファンはわれわれ爺さん、そして子供、孫にまで及ぶ。

昭和46年に地元、日比野中学から大勢の友人と共に熱田高校に入学し、ほとんど中学校の同窓会と高校の同窓会との境目がわからない状態になつているのが実態で、中には保育園から高校まで「ずつ」と一緒に育つてきた熱田高校は、あまり勉強、勉強と言わない自由な校風で、部活も活発でまさに自分にピッタリ。青春真っ盛り、多感な時代を、よき師、人生の友となる人たちと過ごす事が出来

たことを今でも感謝している。娘と息子の入学式が重なつたある年、息子の入学式に参加したら、校長先生が「皆さん受験まであと何日です!」と叫んでいました。ここは高校か、予備校かと疑いました。言われてやつて身につくのかと、そんな思ひでした。

熱高生のみなさんは、若い感性の中で、多くを学び、遊び、様々な経験をして欲しい。また様々なことに好奇心を持ち、何でも吸収してほしいと思います。しかし、常識は必ず時代に合わせて変化をします。その変化についていける柔軟な心を持ち続けて欲しいものです。変化に柔軟に対応できる能力が、生きて



名古屋市中央卸売 北部市場

いくうえで一番大切だと思います。一番輝いている自分は今のじぶんであり、これから先の自分、と言える人生を私は目指しています。頑張れ熱高生諸君…。

(名古屋市中心卸売 北部市場 センライト青果(株)代表取締役社長)

あの3年間

24回生 古川直樹



1976年(昭和51年)4月に熱田高校の門をくぐり、初めて受けた生物の授業。教師は言った。

「高校生は大人。自主性を持たなければならぬ。義務教育ではないのだから、無理に勉強する必要はない。」聞いた僕は驚いた。そして、高校生は「勉強しなくても良いんだ。」と勝手に解釈し、いかにして毎日楽しく暮らすか、だけを考える3年間が始まった。

サッカー部偏重の部活には興味を覚えず、さりとて、やりたいことも無い。追試を免れ、赤点スレスレの成績をキープし、とにかく勉強はしなかった。多くの教師は一生懸命授業をしてくれたが、そんな姿をあざ笑い、扱いにくい生徒であったと思

う。そんな姿をあざ笑い、隙を見つけて授業をさぼった。指導のし甲斐の無い、扱いにくい生徒であったと思う。そんな僕らと真剣に付き合ってくれる教師もいた。彼は、僕らを一人前の大人として接してくれているように感じた。精一杯背伸びして大人ぶる僕らの幼さを理解してくれたいというのが、正確な言い方だろうと思う。彼とは、授業を離れていても、色んな話をした。むしろ、授業以外の話のほうが多かったかもしれない。今、思い返せば、世間的に言う恩師であった。

恩師とは卒業から40年を経た今もその関係は変わらない。残念ながら、ここ数年はお会い出来ていないが、少なくとも、年賀状の付き合いはある。3年間さぼりにさぼった連中も同じだ。それなりに体にもガタがきて、体形も変わり、別人のようになつたが、会えばいつもあの頃の話になる。「もう時効だから」という枕詞とともに、今の高校生活では考えられないような危険な話が飛び出す。

熱田高校での3年間は、思い出すのも恥ずかしく、自分に甘く、自分勝手で、周囲に迷惑ばかりかけた3年間であったが、世間の荒波にもまれる前の、何にも代えがたい、濃密な3年間だったのかもしれない。良

い意味でも、悪い意味でも、あの3年間の延長に今の僕がある。昔の仲間が集まって、「もう時効だから」から始まる話に花を咲かせていきたいと考える今日この頃である。

(名古屋市南区役所区長)

熱田高校の今

高校総体

「南部九州2019」を終えて

3年 伊藤 光輝



今年の夏に開催された全国総体陸上競技種目「円盤投げ」に出場することが出来ました。

結果は10位でした。想像していたより全国大会の舞台は大きく、多くの選手はやる気や自信に満ち溢れているように僕には見えました。

自分では、この時に向けて心も体も準備できているつもりでいました。しかし周りを見ていると、「自分は甘かった。」と痛感させられました。そんななか僕は、本番に臨むことになりました。

予選は、思い通りに体が動かず自

己のベスト記録を4m以上も下回り結果は、全体66人中12位で、ギリギリ決勝へ滑り込めました。決勝では案の定大きなプレッシャーに飲み込まれ10位に終わってしまいました。残念な結果となりましたが、有り難いことに、国民体育大会の愛知県代表選手に選んでいただきました。

国体に向けた練習は、インターハイでの失敗を生かし、練習と本番で形が変わらないように様々な工夫をしました。いざ本番になってみると思い通りの動きができず、またしても失敗してしまいました。そんなわけで、高校では目標としていた全国大会での入賞を一度も実現できませんでした。

僕は、進学しても円盤投げ競技を続ける予定です。大学では、高校生活の経験を活かし、自分の可能性をさらに広げ、日本のトップレベルで戦える選手を目指し、努力してまいります。



修学旅行



令和 START!



体育祭



文化祭



徒会

生徒会長 1年 岡本 怜子



後期生徒会は、2年生2人・1年生4人の執行部と運動・文化・総務の3委員会です。活動しています。

熱高生として初めての文化祭に、生徒会の一員として早くから本番に向けての準備や練習に参加をしました。その経験により、学校生活において熱高祭が担っている役割とその意義を理解できました。テスト期間中は活動を停止し、生徒の本文である勉強を行っていました。私たちは今、毎日授業後に生徒会室に集まり、熱高祭の反省を生かして、来年度の大綱を作成中です。また、合唱祭や球技大会に向けた準備に入っております。それぞれの委員長は先輩からの引継ぎを始め、いただいた資料やアドバイスを基に、役割の重要性やその仕事によって、培われる能力や知識を理解しました。今後一人一人が自覚をもって活動し、行事をつくり上げて行きます。



活動紹介

バレーボール部

2年 大石 彩乃

女子



私たちは、ほぼ毎日一緒に居るから1・2年ともに仲も良く、練習が始まれば、皆でいい練習をしようという練習メニューを考えたり、アドバイスを出し合ったりしております。10月22日に開催された選手権大会では惜敗しました。けれど自分達が練習してきたことが、しっかり出来ていたことを感じることもできました。この試合を通じて足りない部分を再確認し、今回出来なかったことを次の大会までに出

来ようにして県大会出場を目指し、一生懸命日々の練習に励んでおります。また、火曜日は体育館が使用できない曜日なので、自分達の公式戦や練習試合のビデオを見て、皆でミーテ

女子ハンドボール部

2年 森 天音

す。また、体育館の外でいろいろな器具を使った筋力トレーニングなどもしています。



2年生部員は5人しかおらず、ハンドボールは7人制なので1年生の力が不可欠です。そのため、新チームが発足してすぐ、より多くのコミュニケーションをとってききました。今では学年を感じさせないほど仲がいいです。しかし、それは裏目に出るときもありました。練習中に誰かがネガティブな感情を持つと、それが伝染してしまふのです。この現象は試合でも同じで、ミスが続くと雰囲気が悪くなり、なかなか流れを取り戻せません。結果、勝てる試合を勝ちきれず悔しい経験をしたこともありました。いま、目前の新人戦は2回戦で強豪校と対戦しますが、自分たちのやれることすべてをぶつきたいと思えます。「自分たちも戦えるんだ」と自信をつけて、総体に繋げられる試合をします。

私たちが今までの先輩方から受け継いできた「どの部活よりも楽しんで部活をする」を motto に日々練習に励んでいます。昨年よりも人数が増え、今は部員20人で活動してい

応援して下さい。家族・先生・友人など支えてくださる方々に恥じないよう、日々精進してまいります。応援よろしく…。

女子ソフトテニス部

2年 櫻井 奈津美



私たちが今までの先輩方から受け継いできた「どの部活よりも楽しんで部活をする」を motto に日々練習に励んでいます。昨年よりも人数が増え、今は部員20人で活動してい

ます。コートが1面しか使えない分、一人一人の打てる球への意識が高く、練習も工夫して行うことができている。また、部員みんなの距離が近くなり、コミュニケーションの時間もよくとることが出来ます。

私たちの強みは「自分達で練習メニューを考えている」ということです。試合で気づいた自分のニガテなところや、他の人のグッドプレーを練習に取り込むことで、自分たちに一番合った練習を行うことができます。

やるときにはやる。楽しむときはおもいつき楽しむ、「メリハリのあるチーム」をこれからもみんなできつていきたいものです。

サッカー部マネージャー
1年 澤崎 瑠花
1年 福田 しほ

サッカー部は、百人以上の部員がいます。サッカーに一生懸命取り組むみなさんを支えていくのがマネージャーです。こんなにも多くの部員さんがいて、大変なこともあります。がとても充実した部活でやりがいを感じています。マネージャーの仕事は洗濯や洗い物、水入れから試合のスコア付け、ミサンガ作りと様々です。ですがどれも、マネージャー全



員で協力して頑張っています。

朝練で集まって練習したり、放課後のチー

ム練習のあとに自主練している姿を見ると、たくさん努力している部員さんは「すごいなあ」と尊敬しています。練習だけでなくグラウンド整備や掃除なども行い、サッカーだけでなく他のことにも精いっぱい頑張る部員さんを支えていけるマネージャーになって良かったと感じています。

やるべきことも多くて、手が回らないことがあっても、マネージャー同士で支え合い、部員さんにより良いサポートができるように頑張っています。これからも目標に向かって努力する部員さんを全力で支えていきます。

ボランティア部

2年 深谷 玲次

ボランティア部は、1年生12人、2年生3人で活動しています。主な活動内容は、学校外清掃をはじめ、

24時間テレビ、春・秋のあしなが募金、献血の呼びかけなどです。

献血の呼びかけでは、呼びかけが終わった後、映像を見る。その映像から、血液は長く保存できないことや日々血液を必要としている人が大勢いることを知りました。献血が、「命のバトンドリレー」と言われることが今では理解できます。

あしなが募金では、金山で募金活動をしています。「あしなが」というのは、災害や病気などで親を失った子ども達の支援を指す言葉です。この募金をやっていてやりがいを感じる時は、『頑張ってるね』と声をかけてもらった時や、両手で支える募金箱に重みを感じた時です。



そして、他校の生徒たちと協力して活動できることも、楽しさの一つです。僕たちの頑張りが、いろいろな人達の少しでも力になればと思います。

「献血ってそんなに必要なのか」「あしながって何なの」と聞かれることも多いので、少しでも多く

の人に理解していただけるよう、日々活動をしています。ご協力ください。

写真部

2年 大塚 美彩稀

写真部は、毎週火曜日と金曜日の2日間活動しています。3月と5月に行われる球技大会・熱田高校最大のイベントである熱高祭。クラス一丸となって取り組む合唱祭をはじめとする様々な学校行事の中で思い出を形にして残せるよう撮影を行っています。そして、撮影した写真を2棟の渡り廊下に掲示し自由に見られるようにしています。



友人と楽しく模擬店を回る姿や球技大会での真剣な眼差しの被写体の姿は何にも変えられない価値があります。その写真を鑑賞して下さる人も見ている姿も普段よりもより一層キラキラとした目をしているように感じます。自惚れでしょうか。

被写体によってISO感度やシャッタースピードを調節するのは難しく、綺麗に撮れるようになるまで時間がかります。上手く撮れた時の達成感や、写真を撮り喜んでもらった時の嬉しさをバネに、これからも活動していきたいと思えます。

事務局だより

創立65周年記念版会員名簿は、平成29年12月紆余曲折はありましたが発刊。申込者へは発送を完了できました。注文後の印刷販売であり、増刷の予定は全くありません。ご購入を希望される方は、残部が事務局にあります。必要な方は、熱田高校同窓会事務局宛にハガキで送付先・連絡先をご記入の上、お申し込みください。なお、ご購入をされた会員各位は「会員名簿」の管理について、個人情報流出

同窓会は一切お答えしません。母校職員を装い、電話で進学先・住所・電話番号などを聞きだす者がいるようですが、母校及び同窓会ではそのようなことは一切していません。会員名簿に関しましては、同窓会(株)廣済堂に依頼しております。それ以外は、母校及び同窓会とは一切関係ありませんのでご注意ください。もし、ご不審な点がありましたら、(株)廣済堂または事務局までご連絡ください。なお、名簿は同窓会会員のみしか販売していません。



2017版12月発刊

あとがき

巻頭で「スーパー台風19号」について書かれているように最近は、『何かおかしい』雨が降れば集中豪雨、夏は太陽がキラキラ輝く。温暖化による気候の変動を感じるのには、筆者だけではないと思う。11月5日トランプ大統領は、地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」から離脱することを国連に正式に通告した。4年前にオバマ大統領が中国・インドに働きかけてつくりあげたものだ。スウェーデンの16歳の少女、グレダトウンベリ。2018年国連での気候変動サミットでの彼女の演説は世界を揺るがした。気候変動の危機に立ち向かうため、すぐさま行動を始めるよう呼びかける。彼女は2019年スウェーデンで最も重要な女性に選ばれ、ノーベル賞にも推薦された。もし彼女が「ノーベル平和賞」をとっていたらそのインパクトは計り知れなかったことだろう。

国連の気候変動サミットでブレタのそばを、側近を通りすぎるトランプ大統領の姿がテレビに映し出された。それを睨みつけるブレタの顔。ブレタの前では大統領も陰のうすい人間に見えた。最後に、「会報」を作るにあたって一番苦労する点は、どなたに原稿を依頼するのか、会員の皆様が、今何を会報に求めておられるのかということ。内容でお気づきのことやご意見のある方は会報係宛か事務局までお知らせください。

訃報

山田 稔 一回生 令和1.8.3
加藤 辰彦 十五回生 平成30. . .
本部 則夫 十五回生 平成30. . .
ご逝去に接し、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共にお知らせいたします。(係より) クラス幹事の皆様へ 訃報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。

題字 初代書道教諭 名郷紫山

しないよう十分なるご留意をいただきたくお願い申し上げます。業者からの名簿の問い合わせ(進路先・住所・電話等)には

役員一覧

平成31年5月25日現在

顧問	佐々木	1	
副会長	北角	21	
	三好	24	
	波田	1	
	中野	2	
	岩淵	3	
	田中	4	
	大道	5	
	清吉	6	
	小林	7	
	上藤	8	
	武藤	9	
	近藤	10	
	中村	11	
	森田	12	
	真木	13	
	福島	14	
	石田	15	
	小倉	16	
	柿崎	17	
	山口	18	
	恒川	19	
	鬼頭	20	
	佐々木	21	
	青木	23	
	須原	24	
	奥田	25	
	近藤	26	
	野崎	29	
	山田	31	
	樵山	36	
	高橋	定8	
事務局長	万前	6	
書記	谷澤	11	
	伊藤	16	
	吉岡	31	
会計	神谷	15	
	阿部	25	
	山口	定9	
監査	山木	19	
	村谷	定11	
学校幹事☆	水谷	優	48
	川辺	浩	23
	隠岐	歩	45
	磯部	敦	49
	☆印	=代表幹事	